

水道料金改定に関する住民説明会

日時	(登別地区会場)
	平成30年4月20日(金)
	14:00～15:00
	18:00～19:00
	(鷺別地区会場)
	平成30年4月23日(月)
	14:00～15:00
	18:00～19:00
	(幌別地区会場)
	平成30年4月24日(火)
	14:00～15:00
	18:00～19:00
場所	(登別地区会場)
	婦人センター講堂(2階)
	(鷺別地区会場)
	鷺別公民館ホール(2階)
	(幌別地区会場)
登別市民会館大会議室(1階)	

1 開催概要

- ・市説明員
9人
 - ・住民説明会参加者
 - 登別地区 2名
 - 鷺別地区 12名
 - 幌別地区 9名
- 計 23名

2 開催結果

(1) 開会

(2) 登別市あいさつ

(内容)

- ・人口減少などによる水道料金収入の減少が見込まれる中で、老朽化している水道施設の建替えや耐震化対策を行わなくてはならないなど、経営状況は益々厳しくなります。
- ・昨年12月に、水道事業の中長期的な経営の基本計画であります「登別市水道事業経営戦略」を策定しました。
- ・2020年度には事業運営する上で必要な財源は底をつき、2021年度には赤字経営になり、経営努力のみでは事業運営できないことが明らかになり、水道料金の値上げを行わざるを得ない状況となりました。
- ・本日は、現時点での市の考え方に留まる段階ではありますが、皆様に直接ご説明させていただく機会をもうけさせていただきました。
- ・今後は、利用者の代表、専門家などで構成しています水道事業運営審議会や、今日の説明会の結果なども参考にしながら、正式に市としての方針を決定する予定です。

(3) 市からの説明

別紙資料に基づき、以下の事項を説明

- ・登別市水道事業の現状について
- ・登別温泉浄水場の現状と更新による効果について
- ・登別市水道事業経営戦略について
- ・水道料金の改定について

(4) 参加者の皆様からの意見・質問

(主な意見)

- ・水道事業を運営していくためには、費用がかかるものだという認識を昔よりも持っており、20%程度の料金改定はやむを得ないものと思う。
- ・水道事業が独立採算制ということは理解できるが、事業運営ができなくなるのであれば、その不足分は市が税金を投入すべきだと思う。
- ・水道施設の老朽化が進んでおり、今後は給水人口が減っていくことで料金収入が少なくなることは理解できるが、未収金があるのであれば、その対策をしっかりと行ってほしい。
- ・現段階での改定率案19.49%は最低限必要との説明であったが、電気代やガス代などの公共料金と比べると、水道料金は安いイメージがあるので、もう少し上げてほしいと思う。

(主な質問)

- ・何年か後にも、もう一回見直しと値上げが必要になるのですか？
 - (回答) 4年毎に検証を行い、改定の必要性を判断します。
- ・膜ろ過にすることによるデメリットは？
 - (回答) 電気使用量が高くなる傾向になりますが、人件費等の費用の削減が見込まれるため、メリットの方が大きいと判断しています。
- ・配水管については、何年間で更新作業を進めていくのでしょうか？
 - (回答) 水道施設全体の整備計画に則り進めていきます。

(5) 閉会